

かしま 議会だより



第79号

平成26年12月議会号

平成27年1月発行

発行/鹿島市議会 編集/議会だより編集委員会

〒849-1312 佐賀県鹿島市大字納富分2643番地1 TEL63-2104 FAX63-2314



鹿島市成人式

12月定例会日程と議案	2～3 P
議案審議	4～5 P
平成25年度鹿島市一般会計歳入歳出決算	6 P
一般質問	7～11 P
委員会報告	12 P
行政視察報告	13 P
市制60周年記念事業鹿島市議会議場開放	14 P
議会あれこれ	16 P



鹿島市のイメージキャラクター
かし丸くん

- 事項の承認について(平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第3号))
- (8) 議案第54号 鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
- (9) 議案第55号 市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例について
- (10) 議案第56号 教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
- (11) 議案第57号 鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例について
- (12) 議案第58号 鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
- (13) 議案第59号 平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について
- (14) 議案第60号 平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
- (15) 議案第61号 平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
- (16) 議案第62号 平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
- (17) 議案第63号 平成26年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
- (18) 議案第64号 鹿島市休日子どもクリニックの指定管理者の指定について
- (19) 議案第65号 財産の取得について
- (20) 議案第66号 佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に係る協議について
- (21) 議案第67号 平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
- (22) 議案第68号 鹿島市監査委員の選任について
- (23) 議案第69号 鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
- (24) 諮問第1号 人権擁護委員候補者の推薦について
- (25) 諮問第2号 人権擁護委員候補者の推薦について
- 議員提出議案等**
- (26) 意見書第5号 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(案)

次のことを審議し決定しました

【12月定例会】

議案第46号	平成25年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について
議案第47号	平成25年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第48号	平成25年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について
議案第49号	平成25年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
議案第50号	平成25年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
議案第51号	平成25年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について
議案第53号	専決処分事項の承認について(平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第3号))
議案第54号	鹿島市職員給与条例の一部を改正する条例について
議案第55号	市長及び副市長の諸給与条例の一部を改正する条例について
議案第56号	教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について
議案第57号	鹿島市議会議員の議員報酬並びに費用弁償等支給条例の一部を改正する条例について
議案第58号	鹿島市国民健康保険条例の一部を改正する条例について
議案第59号	平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について
議案第60号	平成26年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
議案第61号	平成26年度鹿島市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について
議案第62号	平成26年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について
議案第63号	平成26年度鹿島市給与管理特別会計補正予算(第1号)について
議案第64号	鹿島市休日子どもクリニックの指定管理者の指定について
議案第65号	財産の取得について
議案第66号	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合規約の変更に係る協議について
議案第67号	平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第5号)について
議案第68号	鹿島市監査委員の選任について
議案第69号	鹿島市固定資産評価審査委員会委員の選任について
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について
意見書第5号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書(案)

議案審議

議案第59号

平成26年度鹿島市一般会計補正予算(第4号)について



中西 裕司 議員

がんばる地域交付金について

質問 今回の補正予算に「がんばる地域交付金」が2億4千万円補正されている。景気回復が波及していない財政力の弱い市が行う地域活性化を援助するのが目的だ。市内の景気回復感はないか。

い。実感がない。年度内に補正額全額を市内の景気回復に使うべき。だが補正の支出に合わせ財源を組み替えを行い一般財源を節約する方法で予定内の事業を行う。新規の事業を創出して市内で資金が流動する方策をしないのか。

答弁 総論は理解する。国の補正関連で年度内消化や新規事業の創出には時間がなく準備できなかった。



中村 一哉 議員

新たなイノシシ対策事業について

質問 住民とお話ししていると「イノシシ対策」を仰る方が非常に多い。しかし、今一番有効な対策が行われていないのが「イノシシ対策」でもある。現在、鹿島市独自の補助で20万円補助のイノシシ対策事業費があるが、その補助金を既に使っておられる方も多い。

また県や国のイノシシ対策事業を行うには、要件が厳しく申請できない方も多い状況である。今後、鹿島市単独で新たな名目の「イノシシ対策事業」を行って欲しいが、どう考えているのか。

答弁 現在、鹿島市ではイノシシ対策事業の他に、新たな事業でイノシシ対策を行う予定はない。



徳村 博紀 議員

明倫小学校放課後児童対策について

質問 平成19年度の立ち上げ当初から、大切な事業であるということでも真剣に取り組んできました。過去何回か運営・施設の充実ということ等で質問し、その中で空調等の完備をして頂き大変あ

りがたく思っている。今回は明倫小学校備品購入費105万1千円計上してあるが何を購入するのか、また校舎の大規模改修もあると聞いているが合わせてお伺いする。

答弁 今回、定員が100名を超える為、部屋を間仕切りで2つに分ける。備品はロッカー・テレビ・机等。今後の改修については明倫小体育館の吊り天井の改修・平成30年以降に学校の大規模改造を行う予定である。



伊東 茂 議員

鹿島ブランドプロジェクト事業

質問 全国へ鹿島の特産品に付加価値を付けPRと販売強化を図る新規事業となつている。年度途中で補正を組む理由はなぜか。事業期間と総予算

などプロジェクト内容と効果について説明を求めらる。

答弁 鹿島市全体のブランドディングを構成し、六次産業のさらなる推進、消費者を引き付ける統一ロゴマーク・パンフレット作成などマーケティング戦略が必要と考え実施したい。本年度250万円、平成27年より3年間で900万円の事業となる。鹿島特産品が鹿島ブランドとして認知される



よう育てたい。



議案審議



勝屋 弘貞 議員

放課後児童対策

質問一 赤門・大手門保存整備について

答弁 今年度、県予算に大手門の地質耐震調査で申請をしていたが不採択になった。来年度も申請し、28年度に大手門改修

33年度までに赤門の改修終了を目指す。

質問二 放課後児童クラブについて

答弁 6年生まで入所可能になったが、低学年が優先。40人が望ましい定員だが、4〜6年生が増えるということや、全体的な児童数減少ということなど増減要因を勘案し、最大70人まで受け入れられるので、長期のスパンでクラブ数は考える。



水頭 喜弘 議員

企業等農業参入促進事業

質問 企業等農業参入促進事業補助金の増額（実施面積の増加及び事業要件の緩和）が予算計上されているが。

答弁 当初予算では補助の採択要件を50アール以上としていたが、広すぎ

るといふ要望もあり5アールに下げた。1アール2万円を補助する制度で、植え付けから4年間程度は未収期間があるの未収期間の4年間を補助するもので、事業については根域制限高畝栽培のマルチ栽培に限る。今回要件を緩和したことにより、当初予算当時には50アール程度を見込んでいたが、今回107アールの申請があつていて、今年2名の方が取り組まれている。



橋爪 敏 議員

職員研修費について

質問 職員研修費が43万1千円増額されているがその内容は。また、職員の研修はどのような研修を行っているのか。なお職員の研修は資質向上に大切と思うが研修費の増

額の考えは。

答弁 職員研修費の増額は、首都圏営業本部（東京都）の職員活動費である。職員研修は、市町村アカデミーの研修、佐賀県研修所での研修、庁内に講師を招いての研修、自主研修等年間職員の4〜5割を計画的に実施している。また職員は、資質の向上、競争、レベルアップも必要である。必要な予算は確保して研修の体系を作り上げたい。



松尾 征子 議員

がんばる地域交付金

質問一 がんばる地域交付金は、アベノミクスの恩恵を受けていない地域に2億円交付された。内部の運用だけではなく、経済に跳ね返るように使

うべきだ。
答弁 内示が8月に出、9月議会には間に合わない

かった。26年度中に完成しなくてはいけない。

質問二 ハード事業にしか使えないということ。8月内示だったら思い切つて生活道路の改良に2億円使つても良かったのではないか。

答弁 目的通り経済効果を出す運用をすべきだった。



議案第46号 平成25年度 鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について

平成25年度一般会計歳入歳出決算、公共下水道事業特別会計歳入歳出決算、谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算、国民健康保険特別会計歳入歳出決算、後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算、給与管理特別会計歳入歳出決算の6議案について、現地調査をはじめ3日間にわたり決算審査特別委員会を開催し慎重に審査を行った。はじめに企画財政課参事より、平成25年度の決算状況と主要施策の成果説明により説明があり、その後監査委員より6議案について、一括して決算審査の報告があり、審査に付された歳入歳出決算書、基金運用状況及び同付属書類はいずれも関係法令に準拠して作成されており、計数についても関係諸帳簿及び証拠書類と照合の結果適正に表示されているとの報告があり、ただちに質疑に入り数多くの質疑があった。質疑終了後、討論、採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定することに決せられた。

決算審査特別委員長 橋爪 敏

平成25年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定の委員長報告に反対する討論

松尾 征子

公平・公正を政治信条として取り組んできた。樋口市政は、公平公正にはほど遠い。「ニューディール構想」である。「ピオ」へ福祉施設を入居させることについては市民の反対や疑問に答えることなく進めた。鑑定評価については、市長が市民から訴えられている。同和事業、今年も2世帯3人の解放同盟に194万5,965円。4世帯5人の同和会に225万8,307円の補助金。老人会2,500人に163万5,000円の補助金。「差別をなくす」とする団体に対して行政が差別ある対応をすることは許せない。

平成25年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定の委員長報告に賛成する討論

角田 一美

地方交付税が前年度対比1億996万4千円削減の中、補助事業の活用で国庫支出金が3億4,837万円増加。翌年度への繰越財源を差し引き2億9,628万円の実質黒字となっている。

投資的経費は市単独事業で2億7,242万円減少し、国庫事業が3億4,471万円増加している。

国庫等補助事業の活用により七浦小、西部中の耐震補強・大規模改修工事や東部中南棟・中棟校舎改築工事など小・中学校の耐震化を着実に進め、民間保育所の整備、地方都市リノベーション事業、市民交流プラザ整備、農業の六次産業化等に取り組み、産業の活性化、雇用の創出、地域経済の活性化に大きく貢献、又、不公平な納税をなくすため市民税の徴収率の改善・増収を図り、不納欠損額、収入未済額の削減に努める等評価されるので賛成とする。

一般質問

鹿島市の教育方針を問う



竹下 勇議員

今回視察した大阪の八尾市と京都の城陽市を踏まえ、鹿島市の教育を貫く全体的な考えをお尋ねします。

質問一 家庭や保育機関また子供を取り巻く環境で行われている教育の位置づけは。

答弁 幼児期には健康・人間関係・環境・言葉・表現を身に付けていく。子育てで支援センター利用でさらに充実したい。来年度の「鹿島市の教育」から幼児期の教育も記載したい。

質問二 9年間の義務教育で何を身に付けさせていくのか。

一般質問

答弁 子供対象の事業参加者から、ジュニアリーダーが育っているが、高校卒業後の活動は把握できていない。

質問三 視察に行つたところでは、社会教育委員会の開催が4回と6回というように規則等で決めてあったが鹿島はどうか。

答弁 昨年は2回開催だが、多くの意見も聞くことができたし、これでいいかなと思つている。

質問四 地域力で支えられてきた「春の相撲大会」「夏の花火大会」「秋の竹あかり」等は何故、開催されなくなったのか。

答弁 指導者や資金集めの準備、当日スタッフの確保が難しくなり、組織面・開催時期などの課題で休止となった。



米生産農家を守ろう



松尾 征子議員

質問一 コメの概算金が一等米で八千円、一万六千円という生産原価にも満たない。「コメ作りは続けられん」という声が出るのは当然。この必要経費は外の賃稼ぎで賄うという農家も多い。さらに米の支払いが全部払いが終わるのは、3年ぐら

いかかるという。これでは農家はやっていけない。水田農業を守ることは国土保全や地域の経済、組織を守ることになる。異常な米価の下落を市長はどのように考えるか。

質問二 コメは市場価格だという事で農家は直接

手が出ない。備蓄米は、政府が責任をもって途上国への支援や古い備蓄米の更新など対策はある。鹿島市の農業を守るために市長が先頭に政府へ要求すること。
質問三 概算金は入庫時に支払われている。ナラシ・直接支払交付金は、いつ支払われるのか。
答弁 ナラシは五月（来年）。直接支払交付金は十二月。
質問四 前倒ししても年内に支払うこと。市長が先頭に支払いを求めるとき。
答弁 米の取引は継続しての取引になっている。売れていくら。在庫があり売れていないのは払えない。出荷団体がどうするかということ。今の経済の仕組みでは、出荷団体の売るときに関心を持っていない。私が支払うわけではない。支払う人と話をしている。



質問五 グラウンドゴルフ場のトイレについての後の取り組みは。
答弁 嬉野太良等見に行った。3千万円はかかる。

質問六 早急に取り組むべし。
答弁 検討するように言った。なかなか難しい。



一般質問

防災行政無線



水頭 喜弘 議員

質問 「防災情報伝達システム整備」ということで、これまでの計画を見直し、「同報系」、「移動系」の防災無線のデジタル化に加え、「CATV屋内放送システム」の整備計画の説明を受けた。費用や機能面からしても、無線やFM放送より、CATV回線の活用は有意性がある。今回の計画については概ね理解できるが、未加入世帯（約5000世帯）のうち、同時に、どれくらいテレビ受信に加入するか保証はない。CATV事業者の負担・リスクが大きすぎるのではないか。CATV事業者の負担を軽減する方策はないのか。

答弁 家屋の入口に入る

「光受信機」を防災行政無線のデジタル化事業の一環として国が認めれば補助事業、もしくは有利な起債対象になる可能性があるというふうになっている。新年度の予算編成に向け補助事業、起債対象になるように頑張っていきたい。

自主防災組織

質問 今回の長野の地震でも、倒壊家屋の近所の住民の救助活動で多くの人々が救出され地震の規模や建物の被害の割には、死亡者がなかった。自主防災組織など、地域のコミュニティの「共助」が有効に機能したのではないのか。避難訓練などの実施状況と今後の計画は。地域のきめ細かいハザードマップが必要では。

答弁 平成25年は、県の防災訓練に併せ、北鹿島地区の住民約200名の

参加により高潮を想定した避難訓練を実施した。今後も随時、特定の災害を想定した訓練を実施したいと考えている。今ままで訓練を行っていない鹿島・能古見・古枝・浜の4地区に対し避難訓練実施について各地区の区長の代表者に呼びかけている。27年度に6地区のハザードマップを6種類作っていく考えである。これはハザードマップに加え、避難速報、防災情報を網羅した防災マップを来年度中に作成したいということである。



少子化・人口減少対策



伊東 茂 議員

質問一 若い世代の就労若い世代の地元定住を促進させるため高卒・大卒者の地元企業への就職に際し、受け入れ企業への助成金、本人への就職祝い金の支援が必要。

質問二 結婚について。結婚の橋渡しに行政がどこまで関与するか難しい問題である。婚活支援について行政の考えを問う。

質問三 子育て支援。保

必要と感じるが新卒者・Uターン・Iターンなど幅広く難しい現状である。検討は行う。

育料や小中学の習い事、学習塾月謝代などで児童手当を貯蓄に廻すことは難しい現状である。子育て支援の年齢延長と定住促進の観点から卒業祝い金3万円の給付に取り組んで欲しい。

答弁 教育支援だけに限定することなく多くの部署で子育て支援に取り組んでおり、大きな視点から子育て支援を考えたい。

「地域おこし協力隊」導入と連携

質問 総務省が支援する「地域おこし協力隊」の導入の検討が必要と感じる。隊員一人当たり400万円の特別交付税が最長3年受けることができる。職員数の削減に取り組んでいる本市は、職員の負担が心配される。6次産業の推進にも効果が上がると考える。

答弁 総務省からの紹介

文書を受理し、全庁へ情報提供した。ただ、各課からの取り組みの動きは無い。今後、導入意向があれば調整を行う。

国道207号バイパス沿いへの市営住宅提案

質問 ここ数年バイパス沿いへの店舗、事業所数は増加し利便性の良さから、集合アパートも増えている。今後、市内に約80戸の市営住宅建設予定だが鹿島警察署跡地を利用し計画を進めて欲しい。

答弁 昨年10月、市営住宅建設検討委員会を開催し候補地を選定された。地域貢献型の整備が必要と考えられており、鹿島警察署跡地も5候補地の一つであり本年度中に選定する。



一般質問



横田堤

質問 横田堤の活用について、6月議会での一般質問での答弁は「基本的に埋め立てするとして、土地をどう使っていくか庁内の所管する。どの課になるかわからないが、行政需要、かかる費用も含め検討したい」だったがどう検討したのか。

横田堤の活用

福井 正 議員



鹿島市の防災 火災対策

答弁 駐車場整備などの行政需要が無く、費用も3500万円ほどかかる為現状での整備はできない。笹や水草の撤去は行いたい。

中心市街地活性化

質問 11月1日に、文教厚生産業委員会で香川県高松市の丸亀商店街を行政視察してきた。本四架橋開通後、大型ショッピングモールが18も郊外に出店し、たちまち衰退した。平成6年から再開発に取り込まれ、下を店舗、上部に病院を誘致、マンションを作ることで、街中に住民を増やされている。再開発で一番問題となる土地取得の手段として、土地を60年の長期定期借用することで、土地を自由に使える。地権者には、売り上げの20%を渡すことで、地権者の同意を得、開発できています。

鹿島市で都市計画の見直しが行われているがこのような考え方が取り入れられないか。

答弁 都市計画は、第6次総合計画との整合性を考慮しながら造る。コンパクトシティの観点から、まちなか居住は必要と考える。定期借地権による私有地の借り入れは、検討に値すると思う。

鹿島市の観光政策

質問 倉敷市では、観光客への「おもてなし」として、車いすやベビーカーのレンタル、4か国語表示の案内板整備などに取り組まれている。鹿島市でもできないか。

答弁 車いすに関しては、問い合わせがあり、検討したい。ベビーカーの問い合わせはない。4か国語案内看板は困難であるが、外国語のパンフレットは作成し、観光地に配布している。

地方創生・鹿島の再生について

角田 一美 議員



山村の再生

質問 篠岳地区保安林管理道路の維持管理が集落機能の低下で困難になってきており、道路法面の崩壊や路面の陥没等が生じている。

保安林の持つ多面的機能及び治山施設の管理上、県へ要望し、公的事業で早急に対応すべきではないのか。

答弁 一般的な維持管理は地元においているが、災害が発生した場合は市で対応している。災害の発生前に対応した方が安上がりな面もあるのが法面の防護シート等の設備や維持管理のための原材料費の支給等を考えて維持管理の支援をして

参りたい。

みかん産地の再生

質問 みかん価格の暴落や就農者の高齢化でみかん園の荒廃が年々増加。後継者は全体の1割にも満たない。20年後は30%まで減少し、荒廃園の更なる増加が見込まれる。

農地中間管理機構事業を樹園地の荒廃地でも適用させ優良農地の集約化でみかん産地の再生に取り組むべきではないか。

答弁 中間管理機構事業では10年間、賃貸の白紙委任が必要な為農地の貸し手がなく集約に苦慮している。

高品質高収益を上げる為には基盤整備が必要であり高く売れる品種に改植していく必要がある。基盤整備については既存の補助制度でも対応可能であるので活用を進めていきたい。

有明海漁業の再生

質問 有明海の水質環境変化の根本的解明は有明海漁業再生には必要。県では平成20年度以降毎年国立の研究拠点を整備を毎年国に要望をし、鹿島市でも第5次総合計画で平成27年度に誘致計画を掲げているが、実現の見通しはあるのか。

答弁 市から練り上げた提案ではなく外からの提案で具体的に取組まれて来なかった。若し鹿島市に建設となれば、どこに建設するのか、規模内容がどの程度想定され提供する土地がどの程度必要なのか議論が必要。土地を提供してまで取組むのか、今後どのような体制でいくのか頭の整理をしたい。



一般質問

学力向上について



稲富 雅和 議員

質問一 全国学力・学習調査の目的

答弁 義務教育水準の維持向上の確認。生徒・児童の把握、分析、成果、教育の充実、取り組みを通じて、継続的な検証、改善に取り組む目的。

質問二 学力テストの全国平均や県平均とも比べて、下回る科目が多いという結果でしたが具体的な数字で教えて頂きたい。

答弁 数値を公表したら、独り歩きする。過度な競争をする。文科省からも配慮するように通知がきている。学校では数値は理解されてそれぞれ分析をしていく。それぞれに個々に対策をしていただいている。

質問三 検証、反省、今後の

後の対策は大事であり、その中のICT活用で電子黒板は2年間で全教室へ導入。タブレットについては考えているか。

答弁 タブレットの導入については、均一的な教育をしなくてはいけないと思っている。全国的、近隣市町でも検討されている。ただしすべての生徒に配布する考えはなく、各校で使用できる環境を作りたいて考えていて、随時整備をしていく予定である。

質問四 子

宮頸がん検診で併用検診など今後の厚生労働省の指針に書かれると実

施していく事になると思うが、全体を見ても、検診率はかなり低いと聞いている。早期発見は大事なので、積極的に推奨することも大事ですが市の考えは。

答弁 がん検診、早期発見など、検診の重要性をお知らせして、市民の方にも認識して欲しい。周知を地道に進めていき、受診につなげていきたいと考えている。



ひとまち・しごと・地方創生について：パート2



中西 裕司 議員

質問一 衆議院議員選挙は国のカタチやアリア方方を議論する。スタートと同時にひと・まち・しごと

と・地方創生の政策が実施される。地方の人口減少や東京一極集中の社会的背景を受け「地方のあり方」を政治課題とする。

従来は各省庁のたて型の政策立案ではなくよこ型に変更するもので、「地方創生」の枠組みで関係省庁がテーマ別に協議し立案する。地方が知恵を出して政策立案能力が問われる。他市ですでに

地方創生実施本部が設置され国頼みだけではなく対策を協議して自らの町づくりを始めている。第6次総合計画や27年度予算編成との整合性をどう

計るのか。

答弁 「地方創生」の概要が明示され県の動向もあり注視している。現在第6次の準備段階で市内や各種団体との意見交換等協議を重ねて市民の意見を反映する中で知恵を出す。実施本部は現在考えていない。

質問二 ひと。人口減少の中子育て支援の環境づくりが大切。当面の施設づくりは完了。ソフトが大事。病児病後児保育は前回指摘。保育所で地域の文化伝統や教育の制度化を。予算の確保を。市の単独で。住みやすい町づくりの大きな政策だ。

答弁 特別保育は以前あったが、現在は考えていない。

質問三 まち。生活環境の生ゴミの堆肥化で志布志市の現場研修を受け

てやる気があるのか。

答弁 市全体ではない

質問四 しごと。地場企業の育成は。特に建設業の指名基準に変更はないか。大規模工事があり地元同志のJVで市外には出さない。

答弁 従来どおり。地元優先の方針に変化はない。

質問五 コンサルタントに指定停止の処分。技術者が配置していない理由。資格が無いのに指名入札契約はできない。不動産鑑定士の資格が無かったのでは。

答弁 現在委任状を含め変更届が提出されている。



市民交流プラザの利活用



勝屋 弘貞 議員

質問一 市民交流プラザ「かたらい」の利用状況及び今後の対応について。

答弁 入居団体を除いた11月の利用者数は合計7977人で1日平均265.9人。12月も同程度の割合で推移。10月からの総数は1万人を超え、目標利用者数を大きく上回っている。会議室は万遍なく利用があり、浴室・トレーニングルームは1日に20人前後の利用があつている。キッチンスタジオ・教養娯楽室の利用が少なく、子育て支援施設を除き、平日の利用者が多く6割近くがリピーター。

利用者からの声は老若男女全般的に良く、改善できる要望は随時取り組

み、予算が必要なものは優先順位を決めて改善する。

質問二 『囲碁サミット2014 IN 大仙』の感想は。

答弁 『基聖寛蓮誕生の地』として参加。「祐徳本因坊戦」「ヒカルの碁教室」「ふれあい囲碁」等の取り組みを紹介し、他自治体の話を聞いて鹿島市でも子供たちの大会等、新たな取り組みをと思った次第。

質問三 窓口を一つに。囲碁関係部署の設置は。

答弁 囲碁の普及については本因坊戦など民間の方々にご尽力頂いている。サミット参加自治体の組織運営も参考にし、行政としての関わり合い方を検討する。

現在、各部署での確

するよう考える。

質問四 5年後に佐賀県で開催される全国高等学校総合文化祭囲碁部門受け入れは。

答弁 県より打診あり。対局・交流会・大盤解説・控室・観覧席等、かなり広いスペースが必要となる。長崎大会では個人戦が92名、団体戦138名、引率職員180名、関係者100名ほど、観覧者も含めるとかなりの規模が予想される。やれるのであれば、西部中・鹿高・市民体育館辺りで。



地方創生について(鹿島市が衰退しない為には)



松本 末治 議員

質問一 鹿島市が衰退するその要因は？人口が昭和39年から現在まで80%に減少し、特に七浦地区は、50%と半減している。どのように捉えられているかお尋ねする。

答弁 人口減は、自然動態と社会動態による。地域創生で実行できそうな職員アイデアを紹介すると、①ふるさと納税に積極的参加(市外在住職員・知人勧誘) ②物造り、伝統工芸の産業起業化(彫刻・竹細工など) ③観光の目玉を結びつけたコースづくり(酒蔵・ウォーキング・歴史探索・縁結び・安産)

質問二 地域住民の心のよりどころの健全維持対策について。

市内各地に90社の神社がある。現在人口減少により維持管理が難しい状況。その対応策は。

答弁 寺社仏閣は市の重要文化財のみ補助の対象であり政教分離上対応できない。

質問三 市民体育館は昭和41年建設と古い。県体開催を踏まえ、蟻尾山公園への新築移転はできないか。

答弁 市民体育館は、外壁の修理等で来年度補修計画をしている。

質問四 産業(農林業)の再生

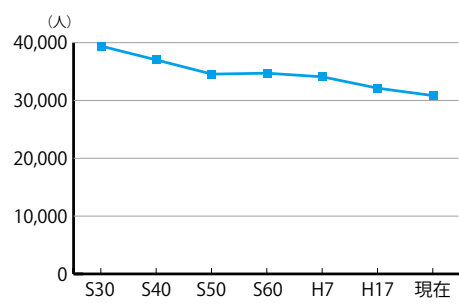
「鹿島ミカン産地崩壊」が始まっている。パイロット事業完了から33年経過、老化現象で漏水も多い。パイロット賦課金の滞納金も増えている維持管理対策は。

答弁 地域農業ストックマネージメント事業(年間600万円、国県市で79.75%を補助残りが自

己負担)で対応。

質問五 大量消費の時代は終わり、「少量多品目消費時代」「特においしいミカンを少しの時代」その対応として、一般ミカンの10倍の単価(1kg 600円)の根域制限マルチ栽培だと思えますが、どのような対応事業があるか。

答弁 佐賀県園芸農業者育成対策事業で施設整備。県2分の1、市10分の1の補助事業で事業費150万円それに市単独で未熟期の4年間10a当り20万円助成がある。(今後4ヶ年ぐらいは、継続を)



佐賀県後期高齢者医療広域連合議会報告

県後期高齢者医療広域連合議会議員
角田 一 美

平成25年度一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の審査が、去る10月31日に行われた。

歳入歳出決算額の総額は、予算現額1,186億4,556万5千円に対し、歳入決算額が1,211億5,949万1,935円、歳出決算額が1,167億788万6,396円であり歳入歳出決算差引額44億5,160万5,539円の黒字である。

特別会計の保険給付費は、1,144億1,862万3,571円で前年度と比べ、18億7,624万円1.67%の増加となっている。

医療給付費の伸び率は全国2.3%に対し、佐賀県は1.6%に収まっているが、佐賀県の1人当たりの医療費は平成25年度104万9,445円で全国第6位と高く、1番低い新潟県の約1.4倍になっている。（全国平均91万9,610円）

これは、医療費全体に占める割合が大きい入院費が全国と比較して大きく、平均在院日数は全国31.2日に対し佐賀県は45.9日（全国第6位）と長い。

なお、全国的に平均在院日数は減少傾向にある。

医療費通知やジェネリック医薬品の使用促進のご理解で更なる医療費の適正化が望まれる。

議会改革の取り組み

12月議会より、本会議場内に国旗を掲揚しました。

一般質問におきましては、画像を活用することにより、質問内容を分かりやすいようにするように努めました。

12月議会においては、2名の議員が映像を利用した質問を行いました。



日本酒条例サミット IN 京都 平成26年11月29日(京都市)

第1回目の表記サミットに市長と議長が正式に参加するのに合わせ5名の議員が自主参加いたしました。



市民体育館の5倍ほどの会場に、式典会場と試飲会場が設けられ、午前・午後の入替制で6,000人の(会費2,000円)の来場者がありました。

議会運営委員会 行政視察報告 (日程/平成26年10月8日～10日)

【視察地】

神奈川県小田原市 小田原市議会
 静岡県磐田市 磐田市議会
 静岡県島田市 島田市議会
 東京都東村山市 東村山市議会



小田原市議会 議会基本条例に基づく議会改革 (面積114km²、人口196,000人)

神奈川県南西部に位置し、江戸時代には城下町・宿場町として栄え、明治以降は保養地・観光地として活路を見出す。平成25年議会基本条例を施行し議会改革に取り組む。議会報告会は市を2ブロックに分け年1回開催、執行部への反問権の運用を認める。昨年度より本会議場へ電子機器(タブレット端末・スマートフォン・ノートパソコン)の持込を許可している。

磐田市議会 議会報告会 (面積164km²、人口170,000人)

静岡県西部に位置し、繊維産業に加え、工業都市としての機能を持つ。農業産出額も高く都市部と農村部が均衡している。議会報告会は市内3箇所、年1回の開催。周知方法は回覧・ホームページ・新聞・ポスターなどを利用。パワーポイントでの作成とプロジェクターを使用。一般会計の決算状況と審議の説明や主要施策の現状報告を行い、報告会の成果と課題を検証し、更に改革に努めている。

島田市議会 議会改革の取り組み (面積316km²、人口104,000人)

静岡県のほぼ中央に位置し、空港・高速道路・バイパスと交通の結節点として注目される。平成21年議会基本条例を制定し、4つの常任委員会、3つの特別委員会から成り立ち鹿島市議会も検討している議会だより編集委員会も昨年特別委員会として設置されている。議員相互の討議により結論に至るまでの過程を明確化している。議会報告会は年2回以上、各地区で行い、過去のデータから参加しやすい土曜日夜7時に開催している。注目すべきは食推協などの女性団体、青年会議所へ向けての報告会を実施。今後はPTAや出前報告会も検討している。

東村山市議会 議会改革の取り組み (面積17.1km²、人口152,000人)

都心への公共交通機関の充実もあり、住宅地が密集し人口密度が高く、生活充実都市として栄えている。平成26年基本条例を制定し議会報告会は定例会後、年4回実施。委員会での議員間の自由討議による議会運営を行う。ICT活用は鹿島市同様、ライブ通信・HPの充実の他にSNS(公式ツイッター)も行っている。

※4箇所の議会視察を行い、議会基本条例に基づくさまざまな独自の改革に取り組んでいる。本市も12月より映像を使った一般質問を開始した。これからも議論を深め、議会運営のあり方、議会報告会の改革、ICTの更なる活用と広報広聴活動に努めたい。

委員長：水頭喜弘 副委員長：伊東 茂
 委員：勝屋弘貞 福井 正 松尾征子 橋爪 敏

鹿島市制60周年記念事業

鹿島市議会議場開放

日程：平成26年11月1日(土)～3日(月)

鹿島市議会議場開放



開会



フラ レア



フラ ハラウ



詩吟



弾き語り



マーギービーツ



詩吟



二胡



オカリナ



純銀アート展示



水墨画展示



裂き織

当日は、委員会室と議場を利用して、オカリナサークル オーロラ、マーギービーツ、鹿島吟友同好会(詩吟)、フラハラウ ナー ホク リッイ、小森恵太さん、伽宗会(詩吟)、二胡 二胡クラブ、フラ レア マカニ、佐賀岳誠会(詩吟)、佐賀岳翠会(詩吟)、常行哲平さん、純銀アートアクセサリー、もくれん会、鹿水会、咲き織クラブにより作品の展示と練習成果のご披露を行っていただきました。

ご協力いただきました皆様、又、ご来場いただきました皆様ありがとうございました。

市議会議員一同



平成26年12月29日
年末警戒

あけましておめでとうございます



平成27年1月1日 祐徳稻荷神社



平成27年1月5日 賀詞交換会



平成27年1月4日 消防出初め式



平成27年1月4日 消防出初め式(祝賀放水)

議会あれこれ

(平成26年10月～12月)

10月

- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 市町行政講演会
全員協議会
- 8日 議会運営委員会の行政視察 ～10日
- 14日 佐賀県市議会議長の議長視察研修 ～16日
佐賀県西部広域環境組合議会議員協議会
- 15日 有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会の要望活動 (国交省ほか)
- 16日 議会だより編集委員会
- 20日 佐賀県西部広域環境組合議会第2回定例会
- 21日 全員協議会
- 22日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会の議案勉強会
- 23日 議会だより編集委員会
- 24日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会・国道207号改良促進期成同盟会の要望活動 (佐賀県ほか)
- 26日 鹿島市制60周年記念式典
- 29日 ミニポートピア長崎時津の視察
- 30日 釜山外国語大学を訪問
有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会・国道207号改良促進期成同盟会の要望活動 (長崎県ほか)
- 31日 佐賀県後期高齢者医療広域連合議会10月定例会

11月

- 1日 議場開放事業 作品展示 ～3日
韓国高興郡民の日に参加
- 2日 議場開放事業 議場ステージ
- 5日 鹿島ニューディール構想調査特別委員会
全員協議会
- 7日 有明海沿岸道路西部地区建設促進期成会の要望活動 (九州地方整備局)
全国町並みゼミ鹿島・嬉野大会 ～9日
- 10日 平成25年度一般会計・特別会計決算審査特別委員会 ～12日
道路期成会3団体の中央要望活動 (国交省ほか)
- 12日 文教厚生産業委員協議会
全員協議会
- 14日 議会運営委員会
- 17日 市内介護施設団体と文教厚生産業委員会との意見交換会
- 19日 佐賀県市議会議長の市議会正副議長会
- 21日 総務建設環境委員協議会
文教厚生産業委員協議会
全員協議会
- 26日 太良町議会との交流会
- 28日 議会運営委員会

11月

- 28日 佐賀県西部広域環境組合議会選出議員協議会
- 29日 日本酒条例サミットin京都に出席

12月

- 2日 12月定例会 開会
全員協議会
- 9日 12月定例会 議案審議(委員長報告、質疑、討論、採択)～10日
- 10日 全員協議会
- 16日 12月定例会 一般質問 ～18日
議会運営委員会
- 18日 全員協議会
議会運営委員会
- 22日 12月定例会 議案審議、質疑、討論、採択、閉会
全員協議会
- 24日 議会だより編集委員会

行政視察受入状況(平成26年10月～12月)

10月 1日	滋賀県近江八幡市議会	13名
10月 22日	福岡県糸田町議会	11名
10月 23日	香川県三豊市議会	9名
10月 31日	大分県竹田市議会	6名
11月 5日	青森県八戸市議会	3名
11月 6日	長崎県対馬市議会	8名
11月 18日	熊本県あさぎり町議会	10名
11月 19日	山口県田布施町議会	8名

議長交際費を公表します。

金額単位：円

区分	10月		11月		12月		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
弔慰	1	15,000	1	15,000	0	0	2	30,000
見舞い	0	0	0	0	0	0	0	0
祝儀	0	0	1	3,000	0	0	1	3,000
会費	1	4,000	3	15,000	1	5,000	5	24,000
接遇	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	3,240	0	0	7	21,000	8	24,240
合計	3	22,240	5	33,000	8	26,000	16	81,240

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年12月15日に衆議院議員選挙が行われ、年をまたいで1月11日には、佐賀県知事を選ぶ選挙が行われました。投票率は、残念ながら衆議院選挙で57.99%、佐賀県知事投票率が54.61%と大変低いものでした。選挙は、国民が自分の意思を示す最大の機会と言われていますが、皆さんは投票に行かれましたでしょうか？いずれにしても新しい人へとバトンタッチがされましたので協力すべきところは協力しながら郷土づくりに参加したいものです。

今回の議会だよりでは、議案審議、一般質問の内容の他、鹿島市制60周年記念事業として鹿島市議会が取り組みました「鹿島市議会場開放」事業の写真を特集し、年末警戒・出初式での消防団の活躍を掲載しました。

【編集委員】

委員長	竹下 勇
副委員長	中村 和典
委員	松尾 征子
委員	中西 裕司
顧問	松本 末治

※この議会だよりは、全て原稿提出者の責任により編集されています。